

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	2年D巡	単元	学科	教科名	自動車工学2D	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	2級自動車整備士（総合）		発行日	2026年4月1日
総時限	11時限		科目別標準問題		教科 担当	北岡/石田 吉田/中川
総時間	17.6時間		クロームブック			
単位数	1					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により機械製図、電気製図について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①図面の名称、大きさ及び様式について理解する ②製図に用いる線の形式、用法について理解する ③図形の表し方である投影図、図形の短縮、断面法について理解する ④寸法記入方法について理解する ⑤電気製図について理解する						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
①図面の名称、大きさ及び様式について理解できる ②製図に用いる線の形式、用法について理解できる ③図形の表し方である投影図、図形の短縮、断面法について理解できる ④寸法記入方法について理解できる ⑤電気製図について理解できる						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、国際科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。 2) 出題試験項目 ①機械製図に関する問題 ②電気製図に関する問題						
5. 準備学習						
事前に製図分野の内容を確認し、図面の名称、大きさ及び様式、製図に用いる線の形式、用法、投影図、図形の短縮、断面法、寸法記入方法、電気製図等について理解する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。						
6. 学修時間と単位						
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。						

